
『大原社会問題研究所雑誌』 2004年度総目次

- (1) 2003年度の総目次は、2004年3月号 (No.544) を参照されたい。
- (2) 2002年度の総目次は、2003年3月号 (No.532) を参照されたい。
- (3) 2001年度の総目次は、2002年3月号 (No.520) を参照されたい。
- (4) それ以前の総目次の所在については、2002年3月号 (No.520)、
1992年3・4月合併号 (No.400・401) を参照されたい。

なお、大原Webサイト (<http://oisr.org/>) でも、バックナンバー総目次を掲載している。さらに、1997年4月号以降については、雑誌本体のオンライン・ジャーナル化、公開を行っている。

【2004年4月号 No.545】

【国際労働問題シンポジウム】

雇用関係の範囲（労働者性）——働く人の保護はどこまで及ぶか？——

2003年6月の第91回ILO総会について 堀内光子

ILOにおける討議をめぐって 栗真保紀

労働者の立場から 滝沢 弘

使用者の立場から 輪島 忍

雇用関係の範囲（労働者性）——ILO討議と日本 鎌田耕一

質疑応答

参考資料①ILO2003年グローバル・レポート『仕事における平等の時』についてのファン・ソマヴィアILO事務局長メッセージ（ILO駐日事務所訳）②バックグラウンド情報—「契約労働」の論議から「雇用関係」の範囲へ（ILO駐日事務所作成）③雇用関係に関する決議（ILO駐日事務所訳）

論 文 中小企業の若年者就業状態と労働組合等の取り組み（下） 相田利雄

海外研究事情 世界の労働関係研究所・資料館・図書館（12）——オランダの国際社会史研究所 五十嵐仁

書評と紹介 遠州尋美著『グローバル時代をどう生きるか——自立コミュニティが未来をひらく』 加藤哲郎

田口亜紗著『生理休暇の誕生』 中山いづみ

姜徹編著『在日^{朝鮮}人史総合年表——在日同胞120年史』 吉田健二

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 2003年12月

【2004年5月号 No.546】

【特集】男女共同参画社会の理念と現実（1）

男女共同参画施策の法的課題——ジェンダー平等の達成に向けて 浅倉むつ子

今日の性別職務分離の特徴と改正均等法の理念 石田好江

- 論文 女性の長期勤続化による男女間賃金格差の動向——A社にみる1990年代の変化を事例として
小倉祥子
日本共産党機関誌『階級戦』から『マルクス主義』へ——「モスクワ報告書」と『マルクス主義』
解題 大野節子
- 海外研究事情 世界の労働関係研究所・資料館・図書館(13)——イギリスのTUC、労働史研究資料センター、
人民の歴史博物館 五十嵐仁
- 書評と紹介 稲上毅著『企業グループ経営と出向転籍慣行』 平澤克彦
鍋谷郁太郎著『ドイツ社会民主党と地方の論理——バイエルン社会民主党1890～1906』 石原
俊時
山泉進著『平民社の時代——非戦の源流』 梅田俊英
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所報 2004年1月

【2004年6月号 No.547】

【特集】男女共同参画社会の理念と現実(2)

- ジェンダー平等政策の展開と雇用における「結果の平等」——ジェンダー平等政策は「結果の平等」を実現しているか 清山 玲
育児における男女共同参画——私的領域のジェンダー変革に向けた家族政策の検討 下夷美幸
- 論文 日本の児童手当制度の展開と変質(下)——その発展を制約したもの 北 明美
全自の賃金原則と日産分会の査定規制(上)——1952年秋闘の事例より 吉田 誠
- 海外研究事情 世界の労働関係研究所・資料館・図書館(14)——イギリス・ウォーリック大学現代情報センター
とリーズ訪問 五十嵐仁
- 書評と紹介 高木郁朗／住沢博紀／T.マイヤー編著『グローバル化と政治のイノベーション——「公正」の再
構築をめざしての対話』 高橋善隆
石田光男著『仕事の社会科学——労働研究のフロンティア』 富田義典
橘木俊昭＋橘木研究室編著『安心して好きな仕事ができますか——働き方の多様性とセーフティ
ネット』 小杉礼子
島本慈子著『ルポ 解雇——この国でいま起きていること』 平澤純子
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所報 2004年2月

【2004年7月号 No.548】

- 講演 大学と労働組合、NPOとのコラボレーションはどのように可能か?——アメリカにおける現状と
課題から探る ケント・ウォン(鈴木 玲訳)
- 論文 労働組合再活性化戦略の研究サーベイ——制度と戦略の相互関係と3つの再活性化戦略の検討
鈴木 玲
全自の賃金原則と日産分会の査定規制(下)——1952年秋闘の事例より 吉田 誠

調査報告 介護職員の雇用形態の多様化と人事・給与管理 小林謙一
書評と紹介 篠原健一著『転換期のアメリカ労使関係——自動車産業における作業組織改革』 秋元 樹
坂田周一著『社会福祉における資源配分の研究』 大谷 強
平賀明彦著『戦前日本農業政策史の研究－1920-1945』 横関 至
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2004年3月

【2004年8月号 No.549】

講 演 最近の労働災害の特徴について 井上枝一郎
論 文 フランスにおける労使関係と労働組合の変化 松村文人
研究回顧 「社会労働運動史研究の45年」から 高橋彦博
書評と紹介 青木紀編著『現代日本の《見えない》貧困——生活保護受給母子世帯の現実』 庄谷怜子
ベティ・フリーダン著、ブリジッド・オフアレ編／女性労働問題研究会・労働と福祉部会訳、杉
本貴代栄解説『ビヨンド・ジェンダー——仕事と家族の新しい政治学』 有賀夏紀
ジェームス・グリーン著、篠田徹訳『歴史があなたのハートを熱くする——運動をよみがえさせ
なければ忘れてしまった闘いの過去を思い出せ』 高須裕彦
村尾祐美子著『労働市場とジェンダー——雇用労働における男女不公平の解消に向けて』 中
村広伸

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2004年4月

【2004年9・10月号 No.550・551】

論 文 占領下日本の再軍備反対論と傷痍軍人問題——左派政党機関紙に見る白衣の傷痍軍人 植野真
澄
電機産業における構内請負労働の実態 戸室健作
雇用主としての派遣会社の役割——苦情処理の分析を手がかりに 鹿生治行
特別寄稿 産業報国運動に関する東条英機陸軍次官通牒の分析 桜林 誠
桜林誠著作目録（第23巻）
書評と紹介 堀真由美著『テレワーク社会と女性の就業』 福留恵子
木曾順子著『インド 開発のなかの労働者——都市労働市場の構造と変容』 柳澤 悠
玉井金五・松本淳編著『都市失業問題への挑戦——自治体・行政の先進的取り組み』 沼尾波子

社会政策学会会員研究業績一覧

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

法政大学大原社会問題研究所2003年度の歩み

月例研究会 戦前日本の生理休暇——自然、身体、資本主義—— 中山いづみ
所 報 2004年5・6月

【2004年11月号 No.552】

【特集】韓国自動車産業の構造改革 (1)

- 韓国自動車産業の構造調整 (上) ——背景, 経過, 展望 尹辰浩 (金元重記)
韓国自動車産業の構造調整をめぐる争点 金基元 (金元重記)
- 論文 韓国福祉国家性格論争——その限界と新たな出発点 金成垣
東ドイツにおける日常生活世界——作業班の経済的・社会的意味 石井 聡
- 書評と紹介 財生協総合研究所編, 栗本昭監修『ヨーロッパの生協の構造改革——生き残りをかけた挑戦』
杉本貴志
Brian K. Obach, *Labor and the Environmental Movement: The Quest for Common Ground*
Rick Fantasia and Kim Voss, *Hard Work: Remaking the American Labor Movement* 鈴木 玲
ロバート・N. プロクター著/宮崎尊記『健康帝国ナチス』 野村一夫
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 大原社会労働リンク集の現状と課題 手島繁一
所 報 2004年7月

【2004年12月号 No.553】

【特集】韓国自動車産業の構造改革 (2)

- ‘混合型’非フォード主義作業組織の形成と進化 周武鉉 (金元重記)
韓国自動車産業の構造調整 (下) ——背景, 経過, 展望 尹辰浩 (金元重記)
- 論文 賃金形態論の途絶——小池和男「賃金の上がり方」論 遠藤公嗣
- 書評と紹介 猿田正機著『福祉国家・スウェーデンの労使関係』 宮本太郎
日本アナキズム運動人名事典編集委員会編『日本アナキズム運動人名事典』 梅田俊英
中村圭介・岡田真理子著『教育行政と労使関係』 早川征一郎
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 農民運動指導者の戦中・戦後——三宅正一を事例として 横関 至
所 報 2004年8月

【2005年1月号 No.554】

【特集】21世紀社会システムとNPOの可能性 (1)

- 社会的経済の促進・世界の動向——初めての社会的経済の世界会議・モンブラン会議に出席して
粕谷信次
- 福祉NPO概念の検討と日本への応用——介護系NPOの全国調査から 安立清史
- 論文 大正期の工場看護婦——製糸経営による看護婦養成の事例から 榎 一江
高齢者介護領域における外国人の非正規労働 (lavoro non regolare) と「正規化」施策——近年の
イタリアの事例から 宮崎理枝
- 書評と紹介 ユテ・バーニング, アンパロ・セラノ・パスキューアル編/高木郁朗・麻生裕子訳『ジェンダー
主流化と雇用戦略——ヨーロッパ諸国の事例』 高橋睦子

柴山恵美子・中曽根佐織編著『EUの男女均等政策』 中野麻美

法政大学大原社会問題研究所編／梅田俊英・高橋彦博・横関至著『協調会の研究』 西成田豊

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 2004年9月

【2005年2月号 No.555】

【特集】21世紀社会システムとNPOの可能性 (2)

民間非営利セクターの全体像をどうとらえるか?—その骨子を三層の組織類型で把握する試み

山岡義典

論 文 A市高齢者事業団の損害賠償裁判と安全管理—問題点と今後の課題 小林謙一

政策ネットワークと社会福祉改革—介護保険法と改正児童福祉法の比較立法過程研究 稗田

健志

研究会報告 最近のドイツ金属産業における雇用保障と労働条件をめぐる労使対立 高橋友雄

書評と紹介 塩沢美代子著『語りつぎたいこと—年少女子労働の現場から』 鹿野政直

杉本貴代栄編著『フェミニスト福祉政策原論—社会福祉の新しい研究視角をもとめて』 森

川美絵

曾良中清司ほか編著『社会運動という公共空間—理論と方法のフロンティア』 手島繁一

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 共同学習における中国の影響 劉 全勝

所 報 2004年10月

【2005年3月号 No.556】

【特集】日本の自動車生産

「人のかんばん」とトヨタ生産方式の対応策 佐武弘章

戦後日本の自動車産業と臨時工—1950-60年代のトヨタ自工を中心に 伊達浩憲

自動車部品産業の国際展開 山崎克雄

論 文 寡占産業と競争産業における非正規労働者の増加要因—電力業・ガス業・水道業と卸売業・小

売業・飲食店を対象に 豊田奈穂

書評と紹介 大畑裕嗣・成元哲・道場親信・樋口直人編『社会運動の社会学』 片桐新自

浜林正夫著『小林多喜二とその時代—極める眼』 梅田俊英

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

『大原社会問題研究所雑誌』2004年度総目次

月例研究会 労働組合の組織力と制度の多様性 権 純元

所 報 2004年11月